

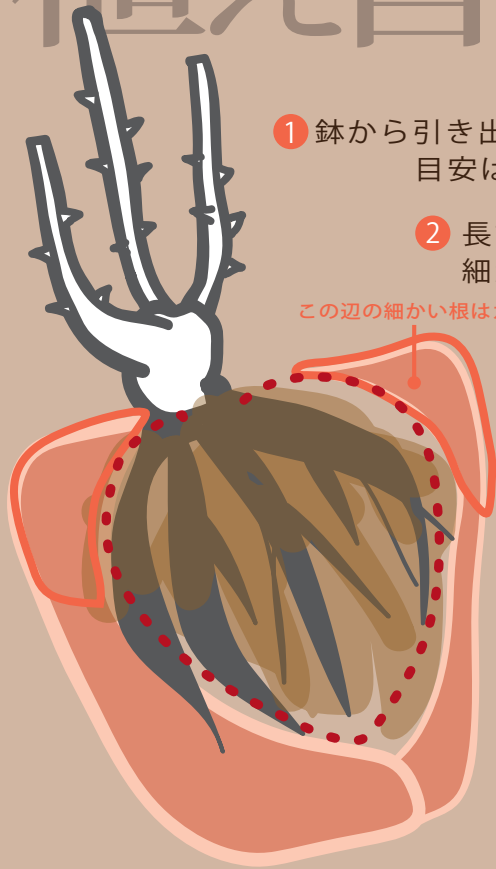
バラの 植え替え

【適期】

- 関東平野部に準じる気候：1～2月前半
- 積雪がある地方：雪が降る前or根雪が溶ける頃
- 沖縄地方：年間でもっとも気温が低い頃

① 鉢から引き出し、イラスト①色の部分の土を崩します。
目安は根鉢の3分の1から2分の1程度。目指すはイチゴ形。

② 長すぎる根や痛んだ根をカット。とくに上の方にある
細かい根は全部切ってしまうとO.K.



この辺の細かい根はカット



さっぱり

③ バイオゴールドの
活性液を標準倍率
くらいにうすめ、
その液に30～120分
程度ひたします。



④ 株と鉢の高さを確認。根の下あたり
(点線位置くらい)まで土を入れます。
次にクラシック元肥を入れます。

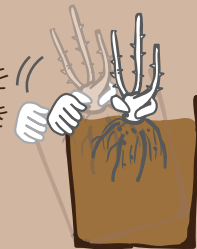
※根に触れても大丈夫なバイオゴールドの元肥
「クラシック元肥」の場合のやり方です。



⑤ 根を広げ、鉢の中心におさまる
よう、傾きも見ながら株を鉢
に収め、その周りに土を足し
ます。

⑥ 根と根のすき間にも土が入るよう、株元を手でしっかり押さえ鉢を
カタカタと揺すります。次に先の丸い菜箸のような棒で優しくつつき
ます。この作業で土がさがった場合は足します。

※根のすき間に土が入っていないとそこから乾燥して枯れの原因になります。
丁寧に土を入れ込んでください。



⑦ たっぷり水をあたえます。“たっぷり”の目安は、鉢の底から流れ出る水が
土色からクリアになるまで。

大きな鉢

鉢が大きく植え替えができない場合は、右図のように部分的に穴を掘り、新しい土と元肥を入れます。



春からの生長が楽しみになります。こちらを使って植えてください。

活性液 春以降も
大活躍!!



左：バイタルV-RNA
右：バイオゴールドバイタル

元肥 根に触れてもO.K.



クラシック元肥
8号：約100g
10号：約100～200g

土

どちらの土でも生育・花つき抜群。



バイオゴールドの土



バイオゴールドの土
ストレスゼロ